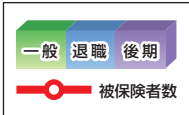
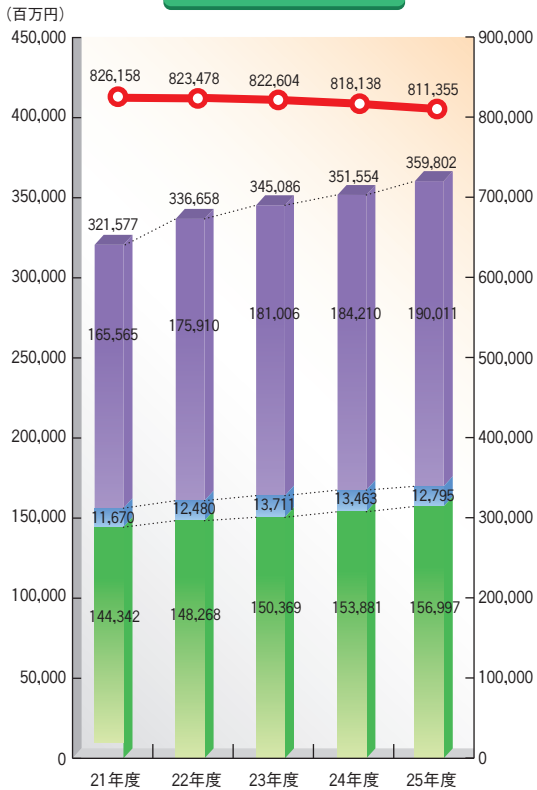


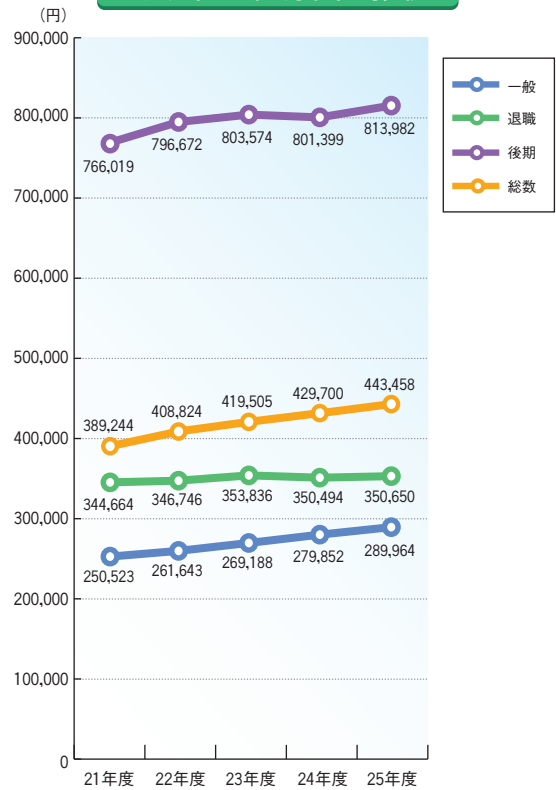
# 栃木県



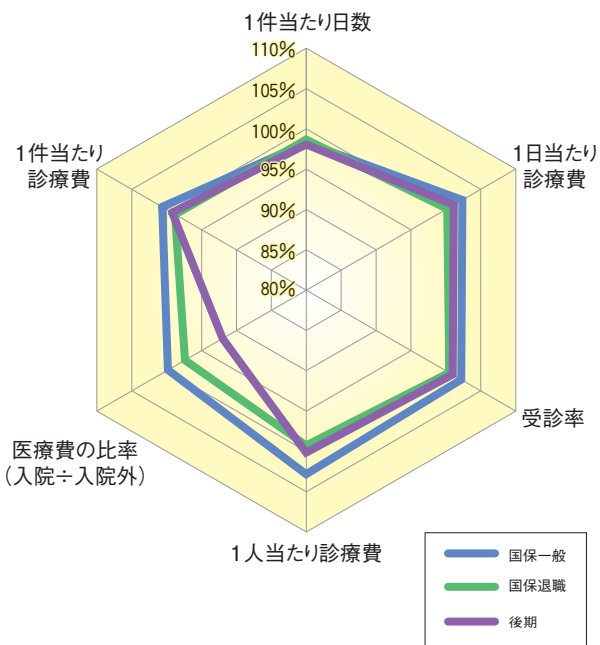
## 医療費の推移



## 1人当たり医療費の推移

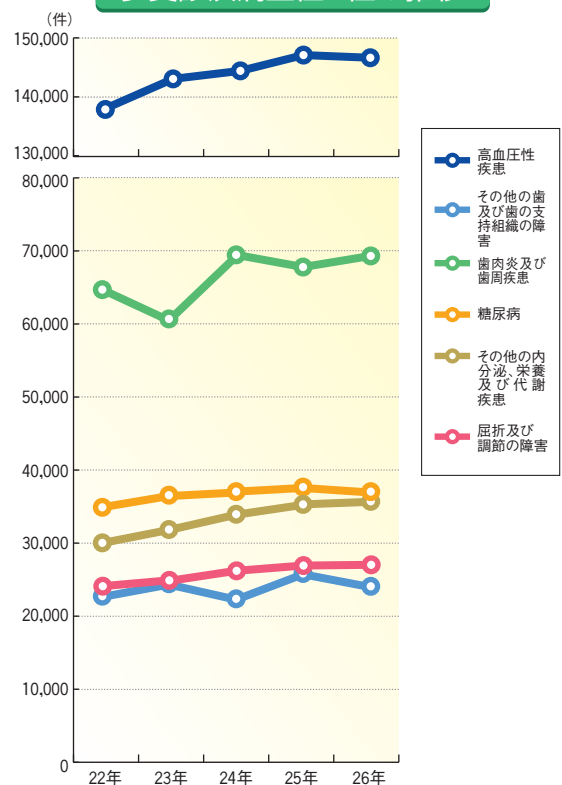


## 平成25年度 3要素と医療費諸費(前年度比)

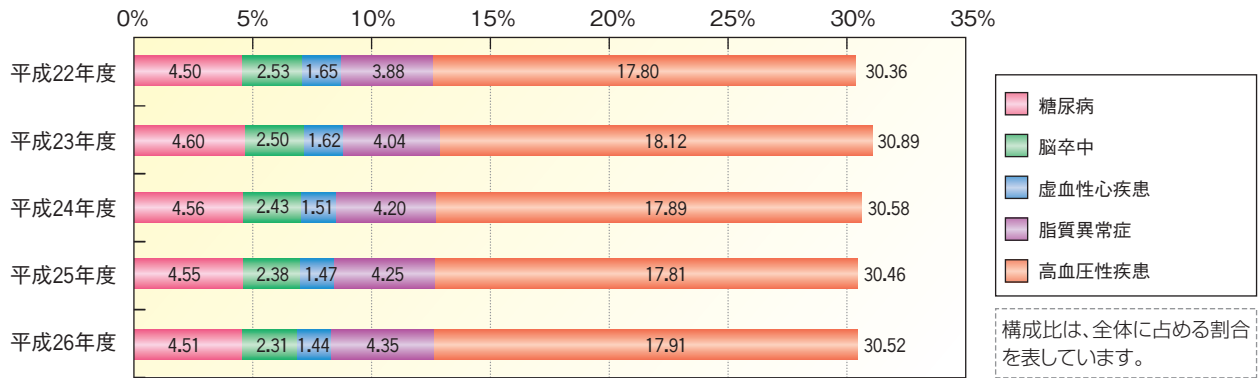


このグラフは、諸率を前年対比して得た値をレーダーチャートにしたものです。

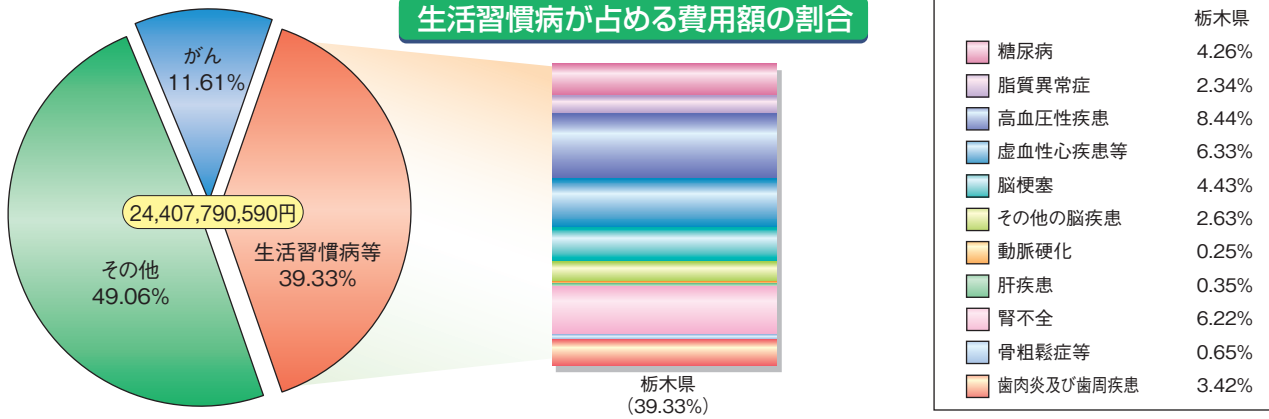
## 多受診疾病上位6位の推移



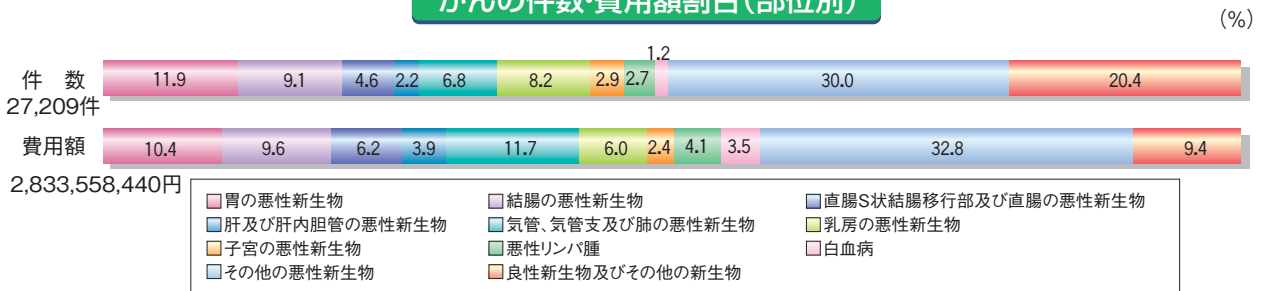
### 生活習慣病5年間の件数の推移(構成比)



### 生活習慣病が占める費用額の割合



### がんの件数・費用額割合(部位別)



### 栃木県の状況

#### ★医療費の状況及び被保険者数

平成25年度の医療費(療養諸費)の推移をみると、一般156,996,547千円(102.0%)、退職12,794,510千円(95.0%)、後期190,010,710千円(103.1%)で、全体では359,801,767千円(102.3%)と増加している。( )は前年度との比較。

平成25年度平均被保険者数は811,355人(99.2%)で、内訳は一般541,434人(98.5%)、退職36,488人(95.0%)、後期233,433人(101.6%)である。

また、平成25年度の1人当たり医療費の推移をみると、総数は443,458円(13,758円増)、一般は289,964円(10,112円増)、退職は350,650円(156円増)、後期は813,982円(12,583円増)である。( )は前年度との比較。

3要素(受診率、1件当たり日数、1日当たり診療費)と医療諸費の前年度比のレーダーチャートを見ると、一般、退職、後期共に受診率及び1日当たり診療費の比率が伸びている。一方、1件当たりの日数及び医療費の比率(入院÷入院外)が減少傾向にある。

#### ★疾病の状況

平成26年5月診療分の件数が多い(多受診)疾病は、1位高血圧性疾患、2位歯肉炎及び歯周疾患、3位糖尿病、4位その他の内分泌、栄養及び代謝疾患、5位屈折及び調節の障害、6位その他の歯及び歯の支持組織の障害で、過去5年上位6疾病に変動はないが、5位の屈折及び調節の障害の費用額は平成22年と比べて1.42倍に増加している。

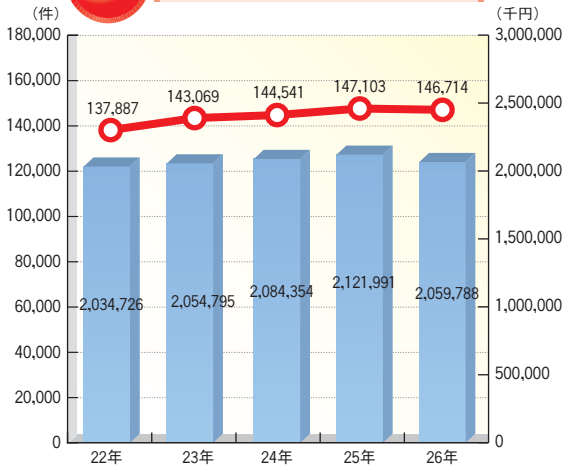
また、5大生活習慣病(糖尿病・脳卒中・虚血性心疾患・脂質異常症・高血圧性疾患)の件数の推移(構成比)をみると、糖尿病・脳卒中・虚血性心疾患の3疾病については、年々減少傾向にある中、脂質異常症は過去5年で最も高く、増加傾向が変わらないままである。

生活習慣病が占める費用額の割合では、平成26年5月診療分の総費用額が24,407,790,590円で、がんが11.61%、生活習慣病関連が39.33%を占めている。生活習慣病関連で占める割合が高い疾病は、高血圧性疾患8.44%、虚血性心疾患等6.33%、腎不全6.22%となっている。

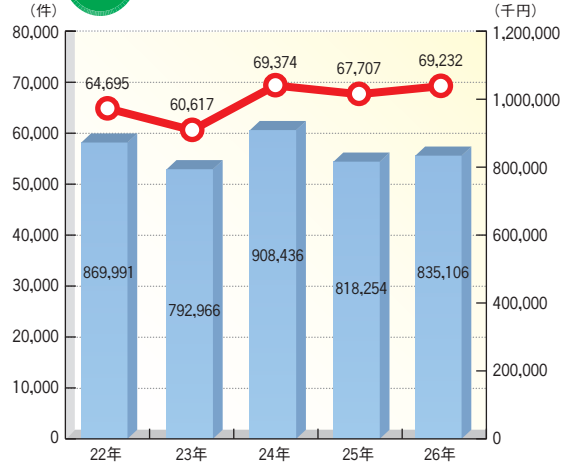
がんの部位別の件数及び費用額の割合は、その他の悪性新生物、良性新生物及びその他の新生物に分類されるものを除き、件数では、胃の悪性新生物、費用額では、気管、気管支及び肺悪性新生物が高い割合となっている。

# 多受診疾病 上位6 の年次推移

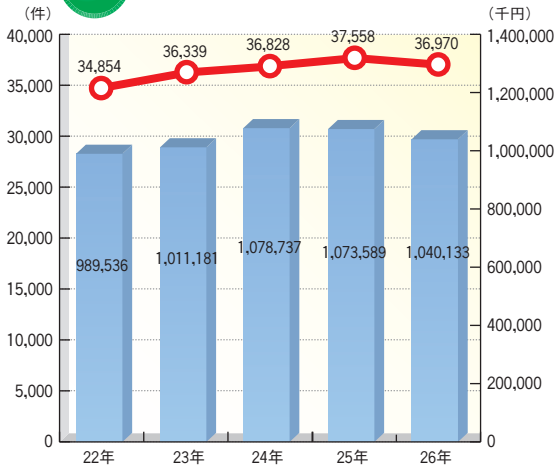
## 1位 高血圧性疾患



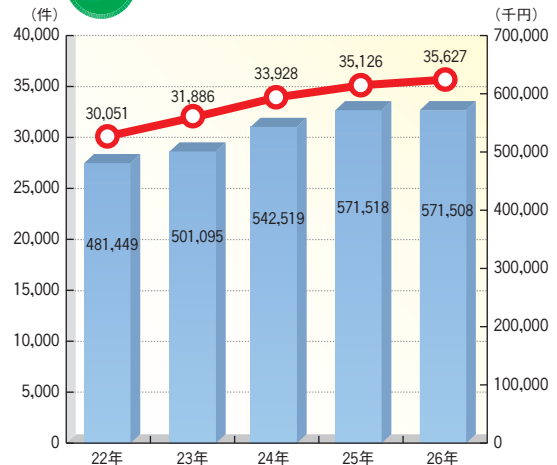
## 2位 歯肉炎及び歯周疾患



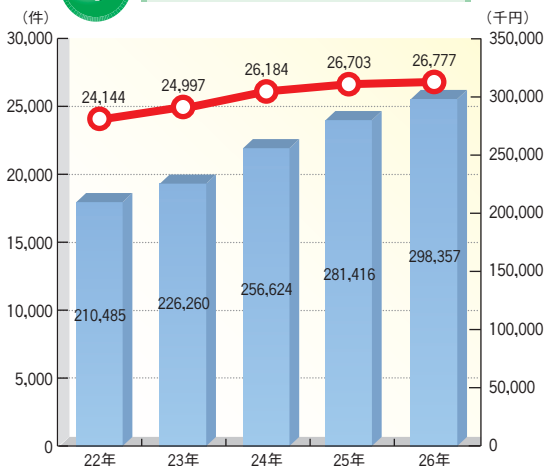
## 3位 糖尿病



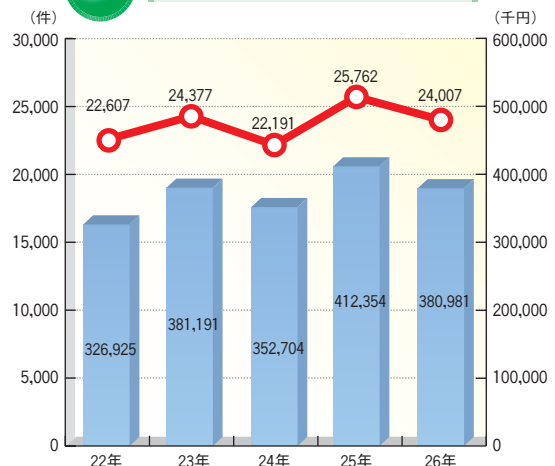
## 4位 その他の内分泌、栄養及び代謝疾患



## 5位 屈折及び調節の障害



## 6位 その他の歯及び歯の支持組織の障害



1人当たり  
診療費(円)

### 受診率と1人当たり診療費の相関図

